

胆嚢炎に対するプラスチックステントを用いた 超音波内視鏡下胆嚢ドレナージの治療成績の検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

近年、超音波内視鏡を用いた様々なドレナージ法が報告され、胆嚢炎に対してもEUS下胆嚢ドレナージ（EUS-GBD）が報告されている。多くは金属ステントを用いた報告であり、プラスチックステント（PS）を用いたEUS-GBDの成績は十分に明らかとなっていない。今回、胆嚢炎に対するPSを用いたEUS-GBDの治療成績を評価することを目的とした。2013年9月から2024年2月の期間に当院で胆嚢炎に対してPSを用いたEUS-GBDを施行した33例を対象に治療成績や安全性、さらに長期間の経過観察による胆嚢炎の再発の有無を検討した。

研究期間

2024年08月1日から2027年07月31日（3年間）の予定

研究の対象となる方

2013年9月から2024年8月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で胆嚢炎に対して内視鏡治療を受けられた方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、胆嚢炎に対するPSを用いたEUS-GBDの治療成績や安全性、長期予後について統計学的に調査します

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出

します。また研究用パソコンは、インターネットにつながません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されません。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

中野 省吾 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

松本 久和 消化器内科 副部長

上野山 義人 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20